



「自分につよさ」 What does it mean to be strong?

校長 守田 聡美

「つよさ」とは何でしょうか。私たちはつい、学力や体力の高さ、失敗しないこと、物事を早くうまくやり遂げることを「強さ」と捉えがちです。しかし、子どもたちの日々の姿に向き合うと、本当に大切な「つよさ」は、もっと静かで目に見えにくいところにあるように感じます。

哲学では、「強さ」は力や能力の量ではなく、「存在のあり方」として考えられてきたようです。何ができるのかではなく、**どのように世界に在り、他者と関わり、選び続けて生きているか**という「生き方」そのものです。思うようにならない現実に出会ったとき、誰かのせいにするのではなく、逃げずに向き合おうとするのか。誰かと意見がぶつかったとき、相手を押し負かすのではなく、尊重しながら理解しようとするのか。不安や迷いを抱えながらも、自らが大切にしたい価値に照らして選び取ろうとするのか。そうした日々の一つ一つの応答に、人の強さは静かに宿るのだと思います。

子どもたちは、日々揺れながら成長しています。失敗し、後悔し、時に涙を流しながら、それでも再び立ち上がろうとします。本当の「つよさ」とは、決して「折れない心」ではありません。折れそうになりながらも、人と支え合い、考え直し、また一步を踏み出す力だと思います。自分が損をしたり弱さを受け入れたり傷ついたりする可能性を引き受けてなお、他者をも尊重し大切にしようとする覚悟のようなものであると考えています。

What does it mean to be strong? 今、世界中の人々がこの問いに向き合おうとしているように感じます。不確かな時代だからこそ、他者や運命を支配する強さではなく、分かれなさを抱えたまま、人としての価値に従って生きる強さが求められているのではないのでしょうか。本校では、結果だけでなく、**どのように悩み、どのように向き合い、どのように選ぼうとしているのか**を大切にした教育を進めてまいります。子どもたち一人ひとりが、自分の弱さを含めて受けとめながら、他者と「共に生きる」中で、自らの「つよさ」を育んでいけるよう支えていきたいと考えています。子どもたちの確かな歩みを支えていけるよう、久我山小は、これからも保護者、地域の皆様と共に歩を進めてまいります。

7月の生活目標

言葉づかいに気をつけよう

1学期も残り数週間となりました。子どもたちは元気よく友達と仲良く過ごしています。ただ、話し声に耳を傾けると、乱暴な言葉遣いをしていたり、強い口調で話していたりすることも度々聞かれます。学校生活を安心して過ごせるよう、気持ちの良い言葉遣いをすることや、場に応じた言葉遣いに気を付けることを指導してまいります。ご家庭でもご指導ください。



5 年移動教室 (5 年生)

6 月 8 日から 10 日まで 2 泊 3 日で山梨県山中湖へ行ってきました。梅雨が始まり、天気が心配されましたが、大きく影響を受けることなく、予定通り各体験学習が進められました。1 日目のほうとう作り体験や 2 日目の河口湖周辺のガイドウォークを通して、山梨県の文化や自然に触れることができました。また、キャンプファイヤーや、室内レクなどの活動を通し、5 年生全体で交流できたことによって絆が育まれたように思います。宿泊行事を通して得た経験を生かして、高学年としてさらに成長できるよう、担任一同指導して参ります。

久我山新聞 (3 年生)

6 月 19 日 (金) に「絵手紙」教室を実施しました。『夏』をテーマにした絵と文を添えて、葉書に手紙を書きました。

筆の持ち方から、かき方まで丁寧に指導いただき、一人一人のよさが溢れる作品となりました。最後はクラスで作品を見合い、友達の作品のよさを伝え合いました。

現代はメールや SNS でメッセージを簡単に送り合えますが、この活動を通して葉書で送るよさにも気付いた児童もいました。「早く家の人に見せたいな。」「友達に送ってみようかな。」というつぶやきもあり、有意義な時間を過ごすことができました。



令和8年度 久我山小学校 7月予定

[illegible]